



入居者様の声

O・S 様 60 代男性：多系統萎縮症：ナーシングホーム OASIS 知立入居中 miyasuku スイッチ操作で使用中

入居時は文字盤使用していましたが、今後のことを考え**重度意思伝達装置 miyasuku** 導入となりました。左手にスイッチ装着し、操作されています。長文を打つのは少し疲れてしまうとのことでしたが、インタビューに答えていただく事ができました！

Q.支援機器使用前はどう思われていましたか？

A.文字盤でやってほしいこと伝えられていたため、自分にはまだ早いと。

Q.使ってみて良かったことは？

A.自分のやってほしいことを文字に起こしてからナースコールができること
テレビチャンネルが変えられること。

Q.不便なことは？

A.打つのが大変。ほとんど会話には使用せず、用件を伝えることに使っている。

使い始めて半年になりますが、文字入力やテレビチャンネル操作等スムーズに行えています。「吸引」「痛い」などの頻度の多いことは定型文として保存し、入力に時間がかかる点をカバーして使いこなしてみえます。



トピックス 第3回リモート交流会の報告

京都から参加されたサポートメンバーからのメッセージをお届けいたします

5月11日(水)初めてリモートでの交流会に参加させて頂きました。チーム名はご利用者のお名前の一部をアレンジした「チーム順烈」としました。介護スタッフが作成した似顔絵付きのボードは今も居室に飾ってあります。ご当地クイズ大会は、下から2番目という残念な結果でしたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。

ご家族やSTさんへも「色々な病気の人がいた」「クイズが楽しかった」など伝えておられ、ご家族からも「とても楽しかったみたいですね。良かったです」と言って頂きました。

次回参加についてお伺いすると「参加する！」と笑顔で伝えてくださいました。

コロナ禍にあり、他の入居者さんと繋がることも難しい中、愛知県という遠方の方とリモートで交流することで、お互いの文化を知る機会にもなり、とても楽しい時間でした。



ファミリーホスピス京都北山ハウス スタッフ